

# 地域を 聞き書きする れきみんトークイベント



王越地区における聞き書き調査の様子（土井亘氏提供）

メディアが発達した現代社会においても、人から人への言い伝えにより伝承されているものが多くあり、豊かな地域の文化やくらしの変化などをとどめています。人々の記憶を「聞き書き」により可視化し、それらを掘り起こし、未来につなげる試みの一端を紹介します。

**土井 亘** Doi Wataru**小林 明日香** Kobayashi Asuka**ドットアーキテクト** / dot architects

2004年に設立された建築家ユニット。大阪・北加賀屋にて、現在8名で活動中。設計、施工のプロセスにおいて専門家・非専門家に関わらず様々な人との協働を実践している。設計だけに留まらず、現場施工、リサーチプロジェクト、アートプロジェクトなど様々な企画にもかかわる。主な作品に「Umaki camp」(2013, 香川)、「千鳥文化」(2017, 大阪)、「仮の家」(2022, 静岡)などがある。

坂出市王越地区における聞き書き調査を町の立体模型に落とし込みながら住民の記憶を可視化し、地域の未来ビジョンの提言を目指している。

**柴田 早穂** Shibata Saho**坊野 美絵** Bouno Mie**しょうどしま民俗座談会**

2024年、小豆島に暮らす7人のメンバーで結成。メンバーは各々、本屋・宿・ライター・研究者・イベント企画・美術作家・コワーキングスペース運営で活動している。少し前まであたりまえにあった、今は見るできない島の暮らしの風景について、かつての暮らしをよく知る人たちから聞き取りを行い、ZINEの編集と販売を行う。

メンバーの柴田は鋳金作家で、鋳金の素材採取を起点とした民俗史収集と制作を行っている。坊野は香川県を中心に観光・事業承継・ものづくりなどテーマはさまざまに取材記事を執筆している。



**申込方法:** 電話、「香川県電子申請・届出システム」でお申し込みください。

\* インターネットからのお申し込みは、瀬戸内海歴史民俗資料館ホームページ右下の関連リンクから「香川県電子申請・届出システムのページへ」をクリックしてください。

**申込期間:** 2025年12月23日(火)～申込開始、定員になり次第終了。

**問合せ先:** 瀬戸内海歴史民俗資料館（右記参照）

2026. **1/25** (日)

13:30-16:00

**休暇村讃岐五色台**

(坂出市大屋富町 3042 五色台山上)  
会議室「香川の間」

\* 瀬戸内海歴史民俗資料館ではありません。ご注意ください。

先着**40名**(要事前申込)・**無料**

**報告****「王越地区の模型制作と  
聞き書き作業について」**

土井亘・小林明日香（株式会社ドットアーキテクト）

**「しょうどしま民俗座談会の活動について」**

柴田早穂・坊野美絵（しょうどしま民俗座談会）

**「民俗学と聞き書き」**

田井静明（瀬戸内海歴史民俗資料館専門職員）

**トークセッション**

土井亘、小林明日香、柴田早穂、  
坊野美絵、田井静明

司会 松岡明子（瀬戸内海歴史民俗資料館館長）

瀬戸内海歴史民俗資料館  
Seto Inland Sea Folk History Museum



〒761-8001 高松市亀水町1412-2  
TEL 087-881-4707 FAX 087-881-4784  
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekishi/>